

あ お ぞ ら

【第108号】 平成23年 夏季号

発行日 2011年7月20日

協力：朗読ボランティア 《ういろうの会》



総会



懇親会

平成23年度通常総会報告

総務担当副理事長 鎌形 忠五

平成23年度通常総会が、4月24日三鷹市福祉会館3階会議室で開催されました。出席者37名・委任状15名・合計52名（定足数正会員総数81名2分の1以上）で、本年度総会は成立しました。

初めに宇田理事長の挨拶があり、その後、三鷹市健康福祉部部長・城所様並びに、地域ケア担当部部長・木住野様、三鷹市社会福祉協議会会長・吉野様のご挨拶を頂きました。ご挨拶終了後、議長並びに書記と議事録署名人（2名）を選出。議長に坂本さん 書記に瀬口さん、議事録署名人に野村さんと榛沢さんを選出。坂本議長の議事開催挨拶後、平成22年度活動報告（宇田理事長）決算報告（鎌形副理事長）会計監査報告（葛原監査役）それぞれの事項とも承認されました。協議事項に入り、福西副理事長退会に伴い新理事および新体制（案）平成23年度活動計画及び予算案を協議し承認されました。新体制として、望月さんと勝間田さんが副理事長に就任し、望月さんが運行部、勝間田さんが教育を、それぞれ担当することに決定しました。尾形さんより、現執行部の運営に対する異論ありの発言があり、執行部ではその異論を踏まえ、残り1年の運営に全力で当たることにしました。総会は無事終了。

昼食後、午後の懇親会に移り、多くの来賓の方々に、ご参加を頂きました。衆議員・山花郁夫様、都議員・吉野利明様、中村ひろし様、市議員・嶋崎英治様、渥美典尚様、緒方一郎様、岩見大三様、全国移動ネットワーク事務局長・伊藤みどり様 それぞれ皆様方のご挨拶があり、その後、懇親会で各議員への要望及び、我々ハンディキャブへの要望と、数多くの意見が出され、その思いを酌みながら約2時間のときを、いろいろの話題を交えての有意義な懇親会となりました。

平成23年度の活動方針について



理事長 宇田 邦宏

4月24日に開催された平成23年度通常総会と懇親会では、出席された多数の会員の皆様から、キャブ運営についての意見発表や利用についてのご希望など数々の貴重なご意見を頂き有意義のうちに終了しました。

理事会では、昨年4月からの活動歴の比較的浅い理事の参加を得た新体制となり、その社会経験に根差した問題提起や、その解決のための大胆な発想などによって、これまでにない活発な議論を重ねることができました。

私たちは、三鷹市内において心身に障がいを持つ方やご高齢の方で、治療やリハビリなどの通院・通所に必要な交通手段の利用に不自由されながら、キャブの運行をご存じない方々が大勢いらっしゃるとの現状認識があります。

キャブがそのような方々のために、日常生活に欠かすことのできない移動手段として、運行サービスを行っていることを、地域の皆さんに広く知っていただくことが重要です。大勢の方々に利用していただけるよう広報活動を強化する必要があります。

このことを、平成23年度における活動の重点方針の一つとして取り組むことにしました。勿論この他にも、いくつもの改善すべきことや課題があることを承知しています。

例えば、予約の簡便化、通院・通所だけでなく買い物やレジャーなどへの利用範囲の拡大など、利用者の皆さんにとって、もっと利用し易い運行形態の確立、

あるいは活動の根幹となる財政基盤の改善や拡充などがそのテーマになっています。

現理事の任期中に、全ての課題を解決することは困難と思われませんが、

皆様のご理解とご支援をいただきながら、課題解決に全力で精一杯努めて参ります。

新任挨拶



運行部担当 副理事長
望月 栄成



満68歳・無事故・無違反を36年間継続中です。

食えること、飲むこと、酒肴品をつくること、菜園、西洋欄、野球、魚釣りとお酒が大好きです。

運転ボランティア全員でご利用者様の納得のゆく運行と事故の無い毎日が私の理念です。

◆利用会員の皆様へ◆

みたかハンディキャブの利用を希望される方をご紹介します。

- ☆ 障がい者・高齢者で移動にお困りの方
- ☆ 電車やバスのご利用がお一人では難しい方
- ☆ 透析患者で常時通院なさる方
- ☆ 目的地まで単独歩行が困難な方



新任挨拶

研修担当 副理事長
勝間田 俊介

本年4月、理事会体制の変更に伴い「研修担当」の副理事長を任命されました。

急の話でもあり逡巡しましたが、現理事体制任期も残り1年であり、お引き受けいたしました。

研修担当として現在実施中の「福祉有償運転者講習」、「新入会ボランティアの方々の研修」「交通安全」と「救命救急」等の講習を継続・更新し、更に講師陣の拡大を図りたいと思います。今後とも利用者の皆様により利用しやすく安全な送迎を提供し、ボランティア各位が楽しく活動できるキャブを目指し、皆様のご協力をお願いする次第です。



運転ボランティアの退任にあたって

小林善一郎

この5月31日で足掛け8年に亘ってやらせて頂きました。
運転ボランティアを退任することになりました。

平成16年3月に会社生活を終えて、在職中から考えていた身体と気力の老化を防ぎ少しでも社会性のあるボランティアはないかなと思っていたところ、ハンディキャブの車のボランティア募集の文字が目にとまり早速入会しました。

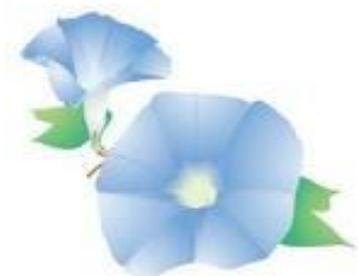
最初の頃は、初めての利用者宅や病院への道順を覚えることが大変でしたが、何回か同じ利用者と運行をともにするうちに、色々なお話や考え方に接することが出来て有益でした。また、利用者の介護をされる家族の方からお話などを聞くと、福祉施策の貧弱というか、至らなさで色々な理由があるにしろ遣り切れない気持ちになりました。

運転ボランティアの8年間は、振り返ってみると長いようで短かった気がします。

その間、多くの人たちのご助力により、時には苦しい時もありましたが、

楽しく大過なく業務に携わることが出来ました。

これからは後方支援に回りますが、今後ハンディキャブのような業務は益々必要となりますので微力を注いでいきたいと思ひます。



私たち毎日の生活を支え、人を明るくする
元気にする福祉用具を提案します。

- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日
日曜・祝日
年末年始



〈サカイ・ヘルスケア三鷹店〉
三鷹市下連雀9-3-15
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

運転ボランティア新人紹介コーナー



三鷹市下連雀3丁目在住
波照間 治己

長男、次男が福祉関係の職に就いていることもあり、息子二人に奨められて昨年11月頃から、みたかハンディキャブのお手伝いをさせて頂いております。（妻と二人で入会）

まだまだ不慣れで未熟者ですが、少しでも困っている方のお役に立ちたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

昭和42年春、沖縄県石垣島より上京して来ました。（同郷の妻も同時期に）

早いもので、あれから45年目になります。今も、年に1、2回程度、帰る事があります。

何もない島ですが、人と自然の海、空がとても素晴らしい所です。

今は、同じマンションで7階、9階とスープが冷めない距離に住んでいる孫たちと毎日楽しく過ごしています。

趣味は、山登り、旅行、ドライブ等。酒が好きで毎日いっぱいやっています。

「瓶に酒あり、囲炉裏に炭（ひ、すみ）あり」 山岡鉄舟の言葉に癒されます



佐藤 隆志

皆様、こんにちは。新人ボランティアの佐藤 隆志と申します。
宜しくお願いします。

新人と申しましても入会してから既に1年が経過しておりまして、自分で『新人』と名乗るのはそろそろ無理があるのでは？などと思いつつも、楽しく活動させて頂いております。

こんな私ですが、入会当初は運行責任の重さがプレッシャーになり、運行の度に不安で悩んでおりました。そんな時、何より自信になったのは利用者様からの嬉しくなるようなお褒めの言葉や、元気になるような励ましの言葉、それと笑顔をいただいたことです。

困った時は、先輩方の手助けもありましたし、アドバイスもたくさん受けました。

そんな皆様のお蔭で、今ではとても楽しく運行させてもらえるようになりました。

そしてこの1年間、私が事故もなく安全に運行できましたのは、安心して運転できる環境を作って下さった皆様のお蔭だと心から感謝しております。

これからも『運転している』ではなく、『運転をさせてもらっている』という感謝の気持ちを忘れずに安全・丁寧・快適な運転を心掛けてあおぞら号のハンドルを握りたいと思います。

～プロフィール～

佐藤隆志 1974年6月12日、三鷹生まれ

【血液型】A 【長所】温厚な性格 【短所】優柔不断

【趣味】バイク・あおぞら号の運転



ビル管理業を生業としながら現在は福祉関係を中心に勉強中。しかし、中学時代にはわずか14歳にして『オール1』という不名誉な金字塔を打ち立ててしまうほど、実は大の勉強嫌いでもある。今年5月にはヘルパーの資格を取得するも苦手のスクーリング講義を連日受けたことにより食傷気味に陥る。

この経験から講義的な勉強とはひとまず距離をおき、元来、得意な身体で覚える『手話習得』を目指し努力しています



倉島だー 無口です！

倉島 俊文

この誌面において、自己紹介の機会を賜りましたことを感謝申し上げます。

私、倉島 俊文と申します。牟礼6丁目在住20年目になります。昨年、市報で「有償運送運転者講習会」を知り、受講したおりにハンディキャブのご紹介を受け、「会のあらましと理念」に深く共感してお仲間に加えさせて頂いた次第であります。諸先輩、利用者の皆様にご指導、お叱り、時には労いや励ましの言葉を賜り日々の心の糧としております。宜しくお願い申し上げます。

芦田 成子



初めまして、4月から運転ボランティアの仲間入りをさせて頂きました芦田と申します。二人の息子の追い出し(?)を口実に練馬の戸建から三鷹のマンションに越してきて4年。地域に交わりたいと気軽に参加したのですが、女性の少なさにびっくり。それでも優しくご指導下さる先輩方のお蔭で、どうにか独り立ちしました。下調べが欠かせない状態ですが、安全運転を肝に銘じてやっていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

運行後の垣さんにインタビュー



三鷹に37・8年住んでいますが、長距離トラックの運転手をしていたので友人もいませんでしたが、ハンディキャブの運転をするようになってからは、三鷹の街を歩いていると声を掛けられたり、ボランティア仲りにいったり飲んだり、一人ぼっちの頃とは違う範囲が広がりました。これからも宜しくお願い致します。



～プロフィール～

兵庫県生まれ、AB型、長所：優柔不断？・臨機応変
短所：このページに書ききれないほどあります。
趣味：釣り・将棋・お酒

**名刺・はがき・封筒・
チラシ等の印刷**
(データ持込可)
**印章・各種ゴム印
ラミネート加工等**
全てがスピード対応!!

とにかく便利なお店です。
是非一度ご来店ください。
<http://seibundo-n.com>

文具・事務用品

誠文堂

TEL: 042-422-9447
西東京市谷戸町2-9-3



運転ボランティア 尾形 邦昭

日本災害医療支援機構（JVMA T）の派遣要請に基づき、みたかハンディキャブから5月19日より24日まで、波照間治己氏と共に参加をしましたので、その報告を致します。3月11日の甚大な被害をもたらした大震災は、4ヶ月を経過した今も、復旧の目途はたっていません。

想像を絶する惨状と絶望の狭間に生きる被災者を目の当たりにした時、言葉を失うとともに、安易な励ましの言葉を懸けることはできないと感じました。

3月19日付 朝日新聞の天声人語にあった短詩が胸を過ぎる。

《失意の胸には/誰も踏み入ってはならない/自身が悩み苦しんだという/よほどの特権を持たずしては》
米国の女性詩人エミリー・ディキンソンの作品

支援活動は、東京都庁職員を事務局とする、東京首都圏の各病院から派遣される、東京都医療救護班の現地送迎運転ボランティアで、岩手県一関の宿舎から50キロ東にある被災地宮城県気仙沼市と岩手県陸前高田市にある医療支援本部を基地とした周辺の診療施設への医療チームの送迎の役目である。

日頃、歩行困難の方や障がいをお持ちの会員皆様を送迎していますが、

「安全で丁寧な運転をして大きめの車両の運転が可能な者」との条件でありました。

5泊6日のハードスケジュールで早朝から晩まで業務があり、多少大変なことも有りましたが、失意にくれ、塗炭の苦しみ、過酷な生活を余儀なくされておられる被災者のことを思えば、何とも無いことでした。

気仙沼は、本来、魚類加工の工場や冷蔵倉庫が多く、津波で多くの設備は破壊され、魚類が流出して散乱腐敗して海からかなり離れた地域でも異様な臭気に覆われていました。このことは、テレビ・新聞等のメディアでは伝え切れない現実です。

街や港は津波の凄まじい破壊力によって壊滅され、鉄材や木材の瓦礫は殆ど手が付けられない状況にありました。その撤去と修復には気の遠くなる労力と時間を要すると思われます。瓦礫の撤去や遺体搜索収容作業など、極限の役目を果たす、自衛隊、警察隊、消防隊の皆さんのご苦勞は筆舌に尽くし難いものだと思います。

日本の危機的状況にありながら、政争にうつつをぬかす政治家達に愛想が尽きる思いですが、意外に、名もなき市民に崇高で敬服できる素晴らしい人達が居ることを再認識しました。

日本はトップ層より中堅層に士気が高く、気高い人材が大勢いるのです。

報道によると全国から49万人ものボランティアが駆け付けたとのことでした。

自ら過酷な環境に身を投じて作業する一般ボランティアの人達、志高い医療関係者、本業の傍ら協力を惜しまない地元の運転ボランティアの皆さん、献身的で有能な事務局を担当する都庁職員。彼等とは、一期一会の出会いでしたが、共に活動できたことは幸いであり誇りでもあります。

微力ながら被災地支援の一端に参加し、活動の機会を得られたことに感謝を致したい。

被災者の回復と被災地の復興を心から願わずにはいられません。天変地異、何が起きても不思議はない今日、『生ある今の1日1日』を大切に過ごしたいと思います。

キャブ小話二題

名医 ①

患者の紺野さん 「先生、最近耳が遠くなって、自分のおならもよく聞こえない始末で。」
 医者 「では、この薬を飲んだらいいでしょう。」
 紺野さん 「これで耳が良くなりますか？」
 医者 「おならの音が大きくなります。」



利用会員
飯野八千代さんの
とんぼのフローキ

名医 ②

患者の根道さん 「先生、体中が痛むんです。指で体を押しと激しい痛みがあるんです。
 胸を押ししても、腹を押ししても、腰も腕も同じように、
 ひどく痛むんです。何か悪い病気でしょうか？」
 医者 「指の骨折でしょう。」

きみまろ

◆ 年間の協力行事予定です。その都度、ボランティアを募りますので奮ってご参加ください。
 (行事に初参加の方を歓迎します)

- 7月30日(土) : ボランティアセンター納涼まつり
- 8月20日(土)・21日(日) : 24時間テレビ送迎
- 9月17日(土)・18日(日) : 敬老のつどい送迎
- 10月2日(日) : 福祉バザー 販売その他
- 10月10日(月) : スポーツフェスティバル送迎
- 12月9日(金) : ボランティアセンター大掃除
- 1月28日(土) : ボランティアセンター新春交流会

福祉有償運送運転者講習会風景 7/3



他にハンディキャブ主催行事として

総会・懇親会：4月第四日曜(終了)、理事会：毎月第二日曜、月例会：毎月第四日曜、
 7月24日(日)：暑気払い、7月30日(土)・31日(日)：ふれあいみたか駅前夏祭りでPR活動、
 11月3日(木)：日帰り交流会、 11月23日(水)三鷹駅南口商店街で募金とPR活動、
 福祉有償運送運転者講習会：年5回 等を予定しています。

10月2日(日)福祉バザーに、提供品をお願い致します。(バザー委員：葛原 VO)

11月3日(木)秋の日帰り交流会は「サイボクハム」を予定しています。
 ☆ レストランでランチをいただき、市場で肉・野菜・果物・お茶等のショッピングを楽しみましょう。
 ☆ 昨年は大型台風の接近のため中止になりました。☀️今年はお天気に恵まれますように☀️

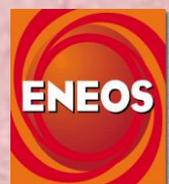


おまかせ下さい！

洗車、車検、整備

タイヤ、オイル、キズハコミ修理

サミットさんの前のガソリンスタンド
 Dr. Driveセルフ三鷹店
 TEL：0422-43-2820



事務局だより

未曾有の大震災から4ヶ月、皆様、いかがお過ごしでしょうか。
計画停電や、モノ不足…。被災者以外でも不便な生活を強いられ、イベントなどの楽しいことも気が引けて…。それでも「被災地を思えばこれくらい…」という思いで乗り越え、節電をしながらもようやく普段の生活に戻り、持ち直してきたように思います。震災は、私たちの生活に様々な影響をもたらし、価値観までも大きく変えました。被災地に対し何もできずに落ち込んでいた時、作家で僧侶でもある瀬戸内寂聴さんが「思い続けること。思い続けることは、行動に結びつくようになる。思い続ければ被災地のためになるのです」とテレビでおっしゃっているのを見たことがあります。この言葉に力をもらい、被災地を思い続けるようにしてきました。阪神大震災や中越地震ではボランティア活動が脚光を浴び今回の震災では混乱しながらもボランティア活動が、だいぶ定着してきたようです。世の中に無駄な命は一つもない。必要とされて生まれてくるもの。大事なものを沢山失い、価値観までも変えてしまった震災。日本にとって、世界にとってもつらい出来事ですが、この出来事が、きっといつの日か、生かされることを願う毎日です。

瀬口

◇ 編集後記

梅雨の中、皆様いかがお過ごしですか？
今頃の雨は緑が映え多少濡れても気になりませんが、この雨も晴れも風も被災地の方々に思いを馳せる時、やりきれなさで胸がいっぱいになります。
私は、東北地方のたべもの（鰹・ホヤ・かまぼこ・油麩・くるみゆべし等）を食して夏を乗り切ろうと思っています。それぞれができる支援を継続していきましょう。 (I)

熱中症の患者は60代以上の方が圧倒的に多く、戸外より室内に居る時が多いそうです。
我々世代は我慢強いですがものね。
でも、我慢もほどほどに、適度にクーラーを使い、涼しい服装で、こまめに水分をとり、睡眠も十分に、お食事も高たんぱく質摂取を心がけ熱中症にならないよう気をつけましょう。 (A)

がんばれ！ 日本



利用会員 秋元イネさんの作品

発行

NPO法人 **みたかハンディキャブ**
〒181-0012 三鷹市上連雀 8-3-10

みたかボランティアセンター2階

TEL 0422-41-0185

FAX 0422-41-0274

E-mail: m-cab@parkcity.ne.jp

ホームページ [みたかハンディキャブ](http://www.mitaka-handicapped.jp)